事務局ニュース08-NO.01　2008. 6. 26 埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854　さいたま市大宮区桜木町４－１００５
TEL048-644-1571　FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/　　Eメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727　埼玉県学童保育連絡協議会

①「大規模学童保育の分離増設の正念場の年！」県連協の2008年度がスタートしました
②障害児学童保育（障害児放課後活動事業）の制度化を求める国会請願署名にご協力を！

埼玉県学童保育連絡協議会総会、研究集会が無事、盛況のうちに終わりました。総会には、上田知事（代理）、県会議員、関係諸団体の方々が出席し、多くの市町村の首長から祝電・メッセージが届きました（※詳しい内容は後日、全世帯配布のニュースにてお知らせします）。

新年度も様々な課題がありますが、２０１０年度にお尻が決められた大規模解消問題は最大の課題です。今年度も学童保育を発展させるために共に力を合わせていきましょう。

報　告　事　項

１．埼玉県の動き

（１）第１回県放課後子ども教室推進委員会　5月23日（金）於さいたま共済会館
①報告　県放課後子ども教室推進事業の概要　　②協議　推進事業の実施方針

（２）県防犯のまちづくり推進会議総会　6月３日（火）於埼玉県県民健康センター
①審議事項　・平成20年度重点取組事項　・「減らそう犯罪の日」一斉パトロールの実施
②後半　わがまち防犯隊コバトンリレー出発式

（３）第１回県次世代育成支援対策推進協議会　6月５日（木）　於埼玉会館
①県子育て応援行動計画の平成19年度取組実績及び20年度取組状況
②保育所待機児童対策について　　③次世代育成支援に関する国の動きについて
④次世代育成支援対策推進法による後期行動計画について　等

２．埼玉県学童保育連絡協議会のとりくみ

（１）第36回県連協総会が開催　5月24日（土）　於さいたま市産業文化センター
28市町約120人の出席がありました。詳細は追って全世帯ニュースでお知らせします。

（２）第36回研究集会が開催されました　5月25日（日）　於埼玉県立大学
50市町686人の参加がありました。指導員＝576人、保護者＝92人、その他＝18人。
全体会は、「歩きながら考える生命・人間・子育て」と題して大田堯氏（日本子どもを守る名誉会長）が記念講演しました。午後は18分科会を開催しました。

３．全国学童保育連絡協議会の動き

（１）第36回全国合宿研究会が開催されました　5月10～11日　於静岡県
【テーマ】「自治体に対する分離・分割の運動をどうすすめていくか」埼玉から５名参加。

（２）第33回全国指導員学校南関東会場が開催　6月１日（日）　於東京経済大学
参加者720人、埼玉県内から70人＋α
全体会では、「どの子にも豊かな放課後を～障害ののある子を含めた発達保障」のテーマで白石正久氏（大阪電気通信大学教授）が講義しました。午後は18分科会で学習しました。

お知らせ・お願い

１．第１回県連協代表委員会へご出席を

□７月12日（土）18:00開場18:30開会
□川越福祉センター
（川越駅西口より徒歩５分）
□内容【交流】１．地域の、特に行政との関わりで特徴的な動き
①２００８年度予算　②大規模の分離増設　③放課後子どもプラン・子ども教室等
２．全国連協「一人ひとりの声を国と自治体に届けましょう」のとりくみの状況
３．10月４～５日の全国研究・北海道開催への目標・とりくみ
【議題】１．県連協の２００８年度方針の重点の紹介と討議　　２．その他

２．障害児学童保育（障害児放課後活動事業）の制度化を求める国会請願署名にご協力を！

埼玉県には、障害児のみを対象とする学童保育に対する補助施策「特別支援学校放課後児童対策事業」があります。この施策を活用して県内には特別支援学校３７校に対して３０カ所（うち１カ所は補助なし）に広がっています。しかし、国には未だに制度がありません。

厚生労働省内でも、「学齢期・青年期の支援策」「放課後や夏休み等における居場所の確保」について検討を始めています。検討会は７月にまとめを出し、これを受ける形で厚生労働省が、年内に方針を立てることになります。そこで、県連協加盟の障害児学童保育が参加している「障害のある子どもの放課後保障全国連絡会（全国放課後連）」として９月開会予定の臨時国会に請願署名を行うことにしました。

是非、ご協力ください。**「しおり」は１クラブ当たり１部。署名は全世帯数を添付**しました。

３．予告　９月の合宿研は「保護者会・父母会と地域連絡協議会を元気に！」

９月13日（土）＝全体会　14日＝分科会　於埼玉労働会館

参加費＝1,500円　宿泊費＝4,980円（ときわ会館）

（１）全体会　「保護者会・父母会と地域連絡協議会を元気に！」

１．趣旨

①私たちは、これまで学童保育に保護者の集まる場（保護者会、父母会）をつくり、働きながら子育てをする者同士、共通の立場で、子どものことを話し合い、親もまた手をつなぐことを大事にしてきました。様々な情報も含めて子育ての悩みや体験を交流する中で、「どこの子、どこの家庭も悩ましいのは同じなのだ」と安心したり、元気をもらったりしています。

②しかし、最近では、「保護者会の出席が悪い」「役員のやり手がいない」「父母会って必要なの？」といった声が聞かれることもあります。その背景には、親の労働実態の厳しさもありますが、単なる利用者としての意識を持つ親も確かに増えてきていることもあります。しかし、それは個々の保護者や指導員の問題ではなく、学童保育が地域にあることが当たり前になる中で生じている新たな課題とらえる必要があります。また、保護者、指導員が学童保育運動に主体的に参加することを困難にしている貧困な社会状況も原因となっていると考えられます。

③改めて、保護者会、地域連絡協議会の意義と大事さを確認し、どうしたら元気な保護者会、地域連絡協議会（学童保育の会）組織をつくっていけるかを考えたい。

２．進め方　保護者会、地域連絡協議会、他県の連絡協議会関係者の事例報告を用意

（２）分科会　以下の４つのテーマで検討中です。

①2010年度を目前にして、大規模学童保育の分離増設を本気で進める
②来年度、多くの地域が再指定を迎える「指定管理者制度」の今後の運動の方向性を探る
③県指導員連協がとりくむ「倫理綱領」づくりをさらに一歩進める
④全体会のテーマをさらに深める　元気な保護者会、地域連絡協議会をどうつくる!?

４．県連協専門委員会のメンバーになって下さい

県連協には、当面している課題を専門的に深め、必要なとりくみを進めるためにいくつかの専門委員会があります。地域連協ないし学童保育からこのメンバーを募集します。

メンバーには交通費（実費）のみ支給します。ＦＡＸないしＥメールで応募して下さい。

■学習研究委員会　県連協が主催する研修会の内容づくり、講師選定などを行います。
定例＝第３金曜日夜　於県連協事務所（ＪＲ大宮駅下車徒歩15分）　７月は、18日

■労働条件改善委員会　指導員の労働条件の改善を進めることを目的とした委員会。
定例＝第４木曜日夜　於県連協事務所

■障害児問題専門委員会　障害のある児童の受け入れを促進するために必要な活動を行います。
定例＝第４水曜日夜　於県連協事務所

■指定管理者制度チーム　指定管理者制度に関わる情勢収集、とりくみの討議などを行います。
７月は14日（月）　於県連協事務所

■その他　①保育内容・保育指針専門委員会、②市町村制度・政策研究プロジェクト「大規模分離増設チーム」の開催日程については追ってお知らせします。

５．「一人ひとりの声」を送ってください！

引き続きとりくんでいます。県との話し合いにも活用しますので９月末をメドに送って下さい。

６．【再度】地域連絡協議会の代表者、郵便物の発送先等を教えて下さい！

※ＦＡＸないしＥメールにてお知らせ下さい。

７．【再度】全国研・北海道開催へ参加のとりくみを　１クラブ２名以上を

10月４（土）～５日（日）　於北海道・札幌

８．『埼玉の学童ほいく～2008 年度資料集』500円をご活用下さい！

例年、研究集会資料に添付していた資料を今年度から地域で活用しやすいように別刷りで作成しました。学童保育の役員は必携、各学童保育に１冊は常備しましょう。

①障害児学童保育が県立特別支援学校を利用のための新しいルール、②「放課後児童クラブと放課後子ども教室はへ別」と規定した「放課後子どもプランに関する研究会報告書」、③県内の学童保育の詳細な実態調査とその分析等、貴重な資料が満載。指定管理者制度に関わる全国社会福祉協議会や三菱総合研究所パブリックビジネス研究会の提言なども掲載しました。

※ＦＡＸないしＥメールにてお知らせ下さい。

ＦＡＸ送信書048（644）1572　Ｅメール gakudoust@yahoo.co.jp

（送り先）　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話 ＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ ＿＿＿＿＿＿　メール ＿＿＿＿＿＿

『埼玉の学童ほいく～2008年度資料集』（500円）希望部数

［　　］部送って下さい。